

上尾市立上平中学校 学力向上プラン「グランドデザイン」

学校教育目標

自立 共感 協働

学校課題研究主題

夢を語り、未来を拓く小中一貫教育
～自ら考え主体的に学ぶ生徒の育成を通して～

学力・学習状況調査の結果

R7 全国学力・学習状況調査	R7 埼玉県学力・学習状況調査	R6 上尾市立小・中学校学力調査
- 国語では、「A 話すこと」「B 書くこと」「C 読むこと」が、埼玉県平均正答率及び全国平均正答率を上回った。 - 数学では、学習指導要領の領域では、すべてにおいて、埼玉県平均正答率及び全国平均正答率を上回った。特に「A 数と式」「B 図形」では、埼玉県平均正答率及び全国平均正答率を大きく上回った。 - 理科では、学習指導要領の領域「エネルギー」「粒子」「地球」を柱とする領域では、埼玉県平均正答率及び全国平均正答率を上回った。	- 国語では、2・3年生が県の学力レベルを上回っており、教科の領域「話すこと・聞くこと・書くこと」では、全学年で県平均正答率を上回った。 - 数学では、昨年度から学力レベルが3段階上昇している。問題によっては無回答率が高くなっているものがある。 - 英語では、教科の領域等のすべての区分で県平均正答率を上回った。全体的に無回答率も低くなっている。 - 学習方略と非認知能力は県平均と同等かやや低い。2・3年生において自己効力感が低下している。	国語では、1学年は、すべての項目において目標値を上回った。2学年は、領域の「情報の扱い方に関する事項」について課題がみられる。 数学では、1学年も2学年もほぼ全ての領域で目標値を上回った。また、成績下位層の基礎学力に課題がみられる。 英語では、1学年・2学年ともにほとんどの領域で目標値を下回った。1学年・2学年ともに「読むこと」が課題である。

本校で身に付けさせる学力

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
①自身の考えを文章にして書いたり、文章を読んで内容を理解したりする力。 ②課題解決に向けた方策を見付ける力。 ③情報やデジタル技術を理解して、適切に活用する力。	④計画・実行・振り返りにおいて課題を発見し、解決したり新たな価値を創造したりする力。 ⑤多様な考えを伝えたり、理解したりしながら協働し、対立やジレンマに対処する力。	⑥困難な課題に対して、先生に聞いたり、調べたりして粘り強く取り組み、目標を達成する力。 ⑦互いの良さを生かして協働する力。 ⑧学習の進め方について試行錯誤し、調整する力。

学力向上のための授業改善

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
授業の初めにねらいを提示し、授業のまとめと生徒の振り返りに対応させ、生徒が自らの学習活動を次につなげ、新たに課題を発見できるように発問を工夫する。また、知識・技能の定着のために小テスト、ICTを活用したフラッシュカード、実技テスト等を実施する。	多面的な視点から物事を捉え、論理的に思考・判断・表現する力を育成することを目的に、単元・教材に応じて課題発見学習、問題解決学習、体験学習、調査学習、協働学習等を取り入れた授業を行う。グループディスカッション、ディベート、ワークショップ等も取り入れる。	上平中スタンダードによる授業規律の徹底や、生徒の自主的な学びを促すことを意識した授業を行う。実践的・体験的な学習活動を多く取り入れ、生徒自らが学びたいと思える授業を創造する。協働しながら課題解決をさせることで、生徒に成就感を味わわせ、次の学習へつなげる。

本校の特色ある取組

- あいさつ運動
- K-タイム（朝学習・朝読書）の充実
- 面談（二者面談・三者面談）を通じた、積極的な生徒理解
- ICTを活用した授業、家庭学習の支援
- レインボールームの有効活用
- 生徒会活動・専門委員会の充実（生徒集会・上中祭）

家庭教育との連携

- 家庭との連携（さくら連絡網等を活用した日々の情報共有、家庭訪問、面談等）
- オンライン教材を活用した家庭学習の充実
- PTA活動の充実（美化活動、奉仕活動等）